
製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称：水酸化ナトリウム系粉末

製 品 名 : ホットブラック 90

推奨用途と使用上の制限：加温黒染剤（医薬用外劇物）

【製造元】

会 社 名 : 株式会社 アイソレート化学研究所

住 所 : 〒206-0812 東京都稲城市矢野口 1666

【販売元】

会 社 名 : 株式会社 オーデック

住 所 : 〒143-0022 東京都大田区東馬込2-19-10 第7下川ビル

電話番号 : 03-3774-5259 FAX 番号 : 03-3776-0881

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】 ※分類対象外、分類できないは省略

可燃性固体	: 区分外
自然発火性固体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 区分外
水反応可燃性化学品	: 区分外
酸化性固体	: 区分外
皮膚腐食性・刺激性	: 区分 1
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分 1
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	: 区分 1 (呼吸器)
水生環境急性有害性	: 区分 3
水生環境慢性有害性	: 区分外

【GHSラベル要素】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

- ・重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
- ・臓器(呼吸器)の障害
- ・水生生物に有害

【注意書き】

《安全対策》

- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 - ・取り扱い後、手をよく洗うこと。
 - ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
-

・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

・必要な時以外は環境への放出を避けること。

《応急措置》

・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

・皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

・汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。

・吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

・暴露した場合：医師に連絡すること。

《保管》

・施錠して保管すること。

《廃棄》

・内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

成分名	含有量 %	CAS No.	官報公示整理番号	P R T R	備考
水酸化ナトリウム	90	1310-73-2	1-410		劇物
塩素酸ナトリウム	5.0	7775-09-9	1-239		劇物
その他塩類	5.0	非公開	既存		

4. 応急処置

吸入した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移動させ、保温・安静にし、直ちに医師の診断を受けること。

呼吸が不規則または止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行い、直ちに医師の手当を受けること。嘔吐物を飲み込ませない様にする。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴などを速やかに取り除き、製品にふれた部分を大量の水及び石鹸水で十分に洗浄すること。

皮膚等に変化が見られたり、炎症を生じた時には直ちに医師の手当を受けること。

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で15分以上洗眼した後、速やかに医師の手当を受けること。

洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行き渡るように洗眼すること。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗眼すること。

すぐに痛みが無く視力に影響が無くても障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合：意識がある場合、大量の水または牛乳を飲ませ、吐かせずに、直ちに医師の手当てを受けること。万一、吐いた場合は、追加の水を飲ませること。意識が無い場合は口から何も与えず、直ちに医師の手当てを受けること。

応急処置をする者の保護：適切な保護具(保護眼鏡、防護マスク、手袋等)を着用する。

5. 火災時の処置

- 消火剤 : 製品は非引火性なので、周囲の火災に応じた消火剤を使用すること。
- 使ってはならない消火剤 : 情報無し
- 特定の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動すること。移動不可能な場合は、容器を破損しないように注水し、冷却する。容器内に水を入れてはならない。
熱分解により塩素化合物や一酸化炭素などを生じるので、呼吸用保護具を着用すること。
-

6. 漏出時の処置

- 人体に対する注意 : 接触や吸入を避けるため、漏れた付近の周囲から人を退避させる。
- 事項、保護具及び緊急措置 : 屋内の場合は処理が終わるまで通風等により換気をよく行うこと。
粉じんが発生しないように作業を行うこと。
作業者は保護手袋、保護眼鏡、保護服、保護マスクを着用すること。
- 環境に対する注意措置 : 漏出した内容物が河川等に排出されない様に注意すること。
漏出物を直接、河川や下水に流さないこと。
- 回収、中和、封じ : 粉末は密閉できる空容器に回収すること。
- 込めおよび浄化方法と機材 : 汚染区域を希酸で中和し、大量の水で希釈して洗い流す。
付着物・廃棄物等は関係法規に基づいて処置する。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 強アルカリ性なので必ず眼や手、皮膚、呼吸用の保護具を着用すること。
酸性物質の近くで使用しないこと。
- 注意事項 : 用途以外には使用しないこと。
人体に使用しないこと。
その他、表示された使用上の注意を守ること。
- 安全取り扱い : 容器の転倒、落下など衝撃を加えないこと。
- 注意事項 : 眼・皮膚・粘膜との接触を避けること。
粉じん、ヒュームなどを吸入しないこと。

保管

- 技術的対策 : 次の物質と接触しないように注意する。水、酸、アルミニウム、スズ、亜鉛やそれらを含有した合金、有機ハロゲン化合物、有機窒素化合物、皮革、ウールなど。
販売時に提供された容器で保管すること。
フタをして保管すること。
吸湿性が強いので湿度の低い場所に保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。
その他、表示された保管上の注意を守ること。
- 混触禁止物質 : 強酸化物質、強酸
- 安全な保管条件 : 乾燥した場所で蓋を密閉して、施錠して保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 樹脂容器(販売時に提供された容器)
-

8. 暴露防止及び保護処置

管理濃度・許容濃度：

成分名	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH(TLV-TWA)
水酸化ナトリウム		2mg/m ³ (最大許容濃度)(2009年版)	2mg/m ³ (Ceiling value)(2010年版)
塩素酸ナトリウム			
その他塩類			

設備対策：許容濃度を超えないように局所排気装置等を設置することが望ましい。
長時間取り扱う場合、給排気が十分にとれ暴露を受けない設備にすること。
作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具：呼吸器用の保護具；防塵マスク
手の保護具；保護手袋(ネオプレン製)
目の保護具；保護眼鏡(側板付きまたはゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具；保護服(長袖できれば耐アルカリスーツ)、保護前掛け、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

形状	顆粒状
色	白色
臭い	無臭
pH	※水溶液は強アルカリ
融点・凝固点	情報無し
沸点	情報無し
引火点	なし
爆発範囲(爆発限界)	なし
蒸気圧	なし
密度	情報無し
溶解度	水に完全溶解
n-オクタノール/水分配係数	情報無し
自然発火温度	情報無し
分解温度	情報無し
臭いの閾値	情報無し
蒸発速度	情報無し
燃焼性	情報無し

10. 安定性及び反応性

化学的安定性：通常の使用・保管条件では安定。
危険有害反応性の可能性：通常の状態では反応性はない。水、酸と急激に混合すると激しく反応し高熱を発生する。
また、アルミニウム、スズ、亜鉛及びそれらを含有する合金と反応し水素を発生させ、有機ハロゲン化合物と接触するとハロゲンガスを発生する。
避けるべき条件：水、湿った空気、下記混触危険物質との接触。
混触危険物質：酸化剤、酸、金属類。
危険有害性のある分解生成物：熱分解により水素や酸化ナトリウム、塩素化合物等を生じる可能性あり。

1 1. 有害性情報

成分名	LD50M	LD50S	LC50R	皮	眼	呼	変	発	生	単	反	吸
水酸化ナトリウム				1	1	外(皮)	外			1		
塩素酸ナトリウム	2100	>5000	>5mg/L									
その他塩類												

※略記号(データ及びGHS区分)

LD50M：経口(主としてラット)mg/kg、LD50S：経皮(主としてウサギ)mg/kg、

LC50R：吸入(主としてラット)ppm、皮：皮膚腐食性・刺激性、眼：眼に対する損傷性/刺激性、

呼：呼吸器感作性または皮膚感作性、変：生殖細胞変異原性、発：発がん性、生：生殖毒性、

単：特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)、反：特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)、

吸：吸引性呼吸器有害性

※分類対象外、分類できないは省略

1 2. 環境影響情報

生態毒性：水酸化ナトリウム；LC50/48H=40mg/L(ネオゼミシニコ)
塩素酸ナトリウム；EC50/48H>100mg/L(オシシニコ)

残留性/分解性：情報無し

生物蓄積性：情報無し

土壌中の移動度：情報無し

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託してください。

汚染容器・包装：同上。

1 4. 輸送上の注意

国際規則：航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。

国連番号：UN 3262

国連品名：その他の腐食性物質；無機物、固体、アルカリ性のもの(CORROSIVE SOLID, BASIC, INORGANIC, N.O.S.)

国連分類：Class 8 (腐食性物質)

容器等級：PGII

海洋汚染物質：含有無し

国内規則：陸上輸送；消防法、労働安全衛生法等の輸送について定めるところに従う。

海上輸送；船舶安全法の輸送について定めるところに従う。

航空輸送；航空法の輸送について定めるところに従う。

緊急時応急措置指針番号；154

15. 適用法令

消防法 : 危険物第一類 酸化性固体(塩素酸塩類)を含有
労働安全衛生法 :
施行令第18条(名称等を表示すべき危険物及び有害物) 非該当
施行令第18条の2別表第9(名称等を通知すべき危険物及び有害物) 水酸化ナトリウム
化学物質管理促進法: 指定化学物質リスト(P R T R法) 非該当
毒物及び劇物取締法: 劇物; 水酸化ナトリウム、塩素酸塩類
航空法 : 施行規則第194条 腐食性物質
船舶安全法 : 危規則告示別表第1 その他の腐食性物質; 無機物、固体、アルカリ性のもの

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手した情報に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。

注意事項は、通常取り扱いを対象としたもので、特別な取り扱いをする場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、取り扱い願います。

引用文献等

(独)製品評価技術基盤機構公表GHS分類結果
I C S C国際化学物質安全性カード
